

## 第45回淑楓祭

テーマ **彩**

10/31(土)・11/1(日)  
(星が丘キャンパスは11/1のみ開催)

### 挑戦した淑楓祭

長久手キャンパス

**今** 年の淑楓祭は「彩(いろどり)」をテーマに掲げ、第45回を迎えました。

今回は新型コロナウイルスの影響により、新たな試みとして初めてオンラインで淑楓祭を行い、大学へ足を運ばずとも、ご家庭やお好きな場所から視聴していただきました。

大学祭当日は、「彩」をモチーフとした装飾物がステージを飾り、大学祭実行委員会のみでの運営となりましたが、日々の成果を存分に発揮することができました。

2日目のトークショーは梶裕貴さん、浦和希さん、お笑いライブはハナコさん、キサラギさんをゲストに迎え、リアルタイムで配信を行いました。

また、「MUSIC STAGE「BOUNCE」」ではマッシュとアネモネさんやHARUMAMAさん、Vertex in Originさんに出演していただき大変

盛り上がりしました。

リアルタイムでの配信は惜しくも叶いませんでしたが、たくさんの方のみなさんに動画で出演をしていただき、淑楓祭に彩りを添えています。

淑楓祭の最後を飾る後夜祭は、クイズ企画や後夜ダンスをたくさんの方に視聴していただきました。

初めてのオンラインによる淑楓祭でしたが、例年お越しいただけなかったお客様にもご覧いただける機会になったと感じています。第45回淑楓祭を開催するにあたって尽力いただきました関係者の皆様、地域の皆様、団体様、お客様に対して実行委員一同心から感謝申し上げます。

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。



## 九州研修旅行

10/28(水)～10/30(金)

**今**

年度の高校2年生の研修旅行は、10月28日～30日の3日間、長崎・太宰府を中心に行われました。

実際の研修旅行は10月ですが、本校では3ヶ月前から大きな目的である「平和学習」を中心に事前学習に取り組みます。

各教科の先生から様々なお話を聞いたり、戦時中の日常の暮らしが描かれた映画「この世界の片隅に」を鑑賞しました。また、クラス別のしおり作成にも力を注ぎます。一人ひとりが異なるテーマで調べ学習をします。目指すのは、ガイドブック以上のガイドブックで、人数分のページを綴じ込み完成させます。表紙のイラストもどのクラスもプロ級の腕前！ その活動も各クラスの研修旅行委員さんの活躍がなくては成り立ちません。

そして本番!!

現地長崎では、原爆資料館の見学や被爆者の方から直接お話を聞きました。今年度の被爆体験講話は、A班は小峰秀孝さん、B班は羽田麗子さんでした。お一人のお話は私たちが事前に調べた想像をはるかに超えるものでした。講話後に行った爆心地での慰霊祭では、皆で平和な時代を後世に残す



長崎班別研修 中華街にて

## 大学

### 星が丘キャンパス

今

年の淑楓祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により例年とは違ったオンラインという形で開催されました。そんな第45回淑楓祭のテーマは「彩」です。新型コロナウイルスという見えない脅威が押し寄せる中、お客様をはじめとした関わる全ての皆様の生活に彩りを添えることで、楽しんでもらいたいという想いを込めました。

毎年ステージに出演している団体や教室企画に参加している団体にオンライン淑楓祭に出演していただくこととなり、新しいオンラインという形で大きな問題もなく終えることができました。また、クイズ企画ではクイズを介して楽しく愛知淑徳大学について知っていただくことができました。そして、今年はおオンライントークショーに磯村勇斗さんが出演してくださり、1100人を超える方々が視聴され、大変



盛り上がりました。最後のレーザーショーでは、撮影日の天候が悪く苦労しましたが、「よかったよ」と声をかけていただきうれしかったです。来年度以降も変化する環境に合わせて、たくさんの方々に愛され、常に発展し続けられる淑楓祭を目指していきます。ご協力いただいた関係者の皆様、配信をご覧くださった皆様へ実行委員一同心より御礼申し上げます。



## 高等学校



慰霊祭 献花



慰霊祭 平和宣言文



被爆体験講話



太宰府天満宮 祈合格



長崎班別研修 眼鏡橋にて

ことを誓いました。今年度は戦後75年の節目の年です。戦争体験のない淑徳生たちですが、そうであるからこそ学んだことをしっかり受け止め、次の世代に伝えていくという強い思いを感じ、とても頼もしく思いました。また、長崎班別自由研修では、仲間と和気あいあいと楽しく過ごし、現地の人と触れ合いもありました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大という思わぬ事態となり日程の変更を余儀なくされました。そのため3日間となりましたが、日常の生活にはない様々な新しい発見があったと思います。この経験を元にさらなる大きな成長を願っています。